



藤原 孟
議員
(緑政会)



「幕別町はパークゴルフ発祥の地です」。この言葉を使っ

て来年で30年である。平成に入ると地域の疲弊を防ぐため官民一体となり町おこし、一村一品、B級グルメ創作など町の名を高めるべく取り組む時代が続いている。

幸いにも我が町には、発祥の地という冠を持っていたので町おこしで一步も二歩も先行できた。

しかし30年もたてば住民間に考え方の違いが生じた。プレーヤーの高齢化、愛好家の減少、高度化した技術、質の高い競技性への移行、コースの劣化による不満、整備体制のあり方を要因として地元住民の熱意が沈静化している。

その反面、今でもプレーヤー人口は日本パークゴルフ協会の努力があり、世界に向かって拡大基調にある。

これからのパークゴルフ振興について町長の考え方を伺う。

①町による取り組み経緯と社会的効果について。

問

パークゴルフ生誕30年目にあたり

答

30周年記念事業を来年の春ぐらいまでに方向性を出したい

②パークゴルフがもたらす町への経済効果、特に観光消費と用品製造販売について。
③30周年記念事業と今後の事業展開について。

町長

①昭和58年に運動公園に7ホールを造成し、平成5年に教育委員会にパークゴルフ振興係を新設し普及・振興に努め、現在では、行政視察の受け入れを企画室が、町内の振興を生涯学習課が、管理を建設部が所管し、団体の指導、ルール、コースの認定業務は日本パークゴルフ協会が担当し行っている。

社会的効果としては、三世交代を初め、地域間交流、高齢者の方々の健康増進にも寄与しており、パークゴルフが全国へ、海外へと広がり「パークゴルフ発祥の地・幕別町」の知名度が増し、町のイメージアップにもつながっていることも大きな効果の一つであると考えている。

②平成9年

にたくぎん総合研究所に委託して実施した調査が下記の表のとおり
の推計結果
が出ている。
平成23年度は、用品製造出荷額は減少しているが、入り込み客数は増加していることから、当時と同程度、25億円程度の経済効果がもたらされていると考えている。

パークゴルフがもたらす経済効果 (H7年度のデータ)	
パークゴルフ入込客(年間)	24万1000人
町内での観光消費額(年間)	20億7000万円
コース開設後の累計	100億円
用品の市場規模(総額)	6億4000万円
町内製造品出荷額	4億4000万円
用品が市販されて以来の累計	22億6000万円

③30年の記念事業については、現在、内部で検討をしている。これまでの歴史をまとめた記念誌の発刊や記念式典を初め、30年を機にさらなる発展につなげていくことのできる内容としなければならいものと考えている。

今後の事業展開については、こ

れまでもパークゴルフを町の振興やまちづくりにどう位置づけ、つなげていくのかという命題を常に意識し、幕別町パークゴルフ協会や日本パークゴルフ協会とも一層連携を図り、展開していきたい。

再質問

発祥のコースのある本町地区に再びプレーヤーを呼び込むため、人気の薄いコースを整備して、夢のある美しい芝生を持つコースを造り、商工会と協力して素通り客を町にとどめる。
町長の大英断を求める。

答内部で検討して、関係団体、関係の方々の意見も伺いながら対応していきたい。



パークゴルフ発祥のつつじコース